SCOUTING

スカウティング Scout Association of Japan www.scout.or.jp NO.636 2006/5
平成18年5月1日発行 毎月1回1日発行 第636号 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

■第33回全国BS写真コンテスト入賞作品発表
■おめでとう! 富士章受章スカウト顕彰・代表表敬
■日本連盟新しい役員紹介

財団法人
ボーイスカウト日本連盟

第33回 全国ボーイスカウト写真コ

少年の部　（応募総数285点）

最優秀

「ありがとうございます」

田中 克朋（兵庫・姫路第6団 ボーイ隊）

評 どちらかというと、社会活動をしていることを優位に考えて選びました。募金活動の活発なところを撮ると、写真としてのアピール・表現ができると思います。それにはどういうカメラ位置で撮るとよいか？募金をしている人とスカウトとの関係の親密さ・明るさが感じられるともっとよくなったと思います。

何か良いことをしているスカウトの顔もいいです。

優秀

「クリスマス会のケーキ作り」

井上 貴之（茨城・水戸第8団　カブ隊）

評 右から覗いている少年の表情がとてもよいです。作っている少年の真剣さと、横から覗きこんでいる少年の表情のバランスのおもしろさがよく写っています。カメラの位置をもう少し下げて撮ると、バックの少年が見えなくなって、3人の表情を見る人により鮮明に写すことができます。

クリスマス会のケーキコンテストに出すケーキを一生けんめい作っています。いちごをどこに飾るか考えているところです。

優秀

「コーン！みんな狐に変身」

佐々木 京香（新潟・新潟第15団　カブ隊）

評 お面をかぶってキツネの姿をしているねらいはおもしろいのだが、撮る人がベンチの上にのって、もう少し俯瞰で撮るとお面の重なりが少なくなって、写真的におもしろく見せることができます。記念写真的な構成をする場合は、モデルと背景の位置関係が重ならないように演出するとよいでしょう。

SLに乗って狐の嫁入り屋敷に行きました。昔話を聞いて、手作りのお面をつけ、僕たちも狐に変身しました。

ンテスト入賞作品発表!!

協賛:ペンタックス株式会社

評:審査委員長評価　📷:撮影者作品コメント

入選

「13だんの三人むすめ」
稲垣 楓
(長崎・長崎第13団
カブ隊)

📷 スカウトのなかまと出みせでスライムをつくってうりました。かわいいビーバーの三人をうつしました。

入選

「デイキャンプの
メニュー決め!」
山口 拓哉
(埼玉・川越第9団カブ隊)

📷 デイキャンプを前にしてみんなでメニューをえらんでいるようすをとりました。

入選

「ねぇ、おしえてよ、
おばあちゃん」
安部 光穂
(千葉・八千代第5団 カブ隊)

📷 みんなでわらぞうりをつくっているところで、光がおばあちゃんの手にあたり、あたたかそうにとれました。

入選

「ホイップ・ストップ
・ジャンプ」
北村 匠
(茨城・水戸第8団
カブ隊)

📷 クリスマス会でのケーキ作り。生クリームがとびちりそうで、思わず手が出てしまったところを写真にした。

青年・成人の部 (応募総数162点)

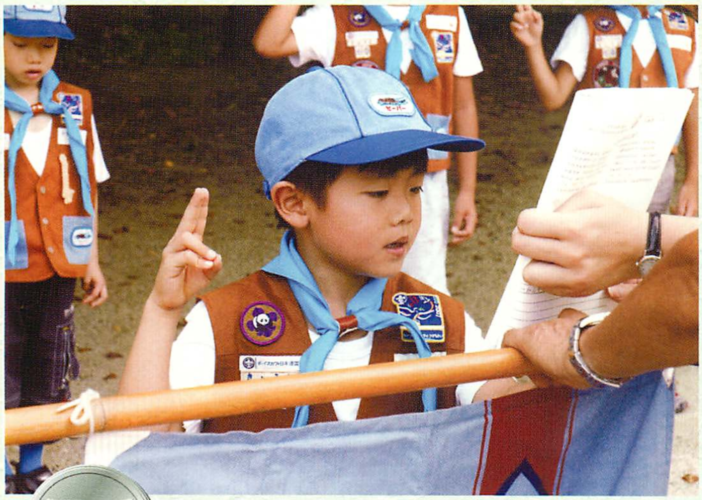
最優秀

「カブラリー」

吉岡 新市(奈良・橿原第9団　カブ隊副長)

評 遊んでいる中で撮っているので、表情が生きており、動きが感じられます。全身で遊んでいて、楽しんでいる顔そのものが写し出され ています。アンバランスな画面構成が動きをよく出しており、かなりうまいです。

📷 カブラリーでの楽しいシーンです。子どもは遊んでいる時が一番生き生きしています。



優秀

「ちかいの式」

出石 康之（京都・京都第60団　ビーバー隊副長）

評 真剣な表情で、ちかいのことばを読んでいる表情がいいです。カメラ位置を下げて、後ろの子どもたちの顔を写していれば、主役と脇役の関係が浮き出てきて写真としての力が出て、主役の子の顔が生きてくるでしょう。

リーダーの補助を受けながら真剣にちかうスカウト。

優秀

「大豊作」

草村 実（愛知・豊田第25団　ベンチャー隊隊長）

評 立ったままの姿勢で撮っているので、奥行きがなくなっています。少年の表情はいいが、たくさんくっついたイモが目立っていません。撮る人は、イモがおもしろくて撮っているのだが、写真にはそれが写っていません。アングルを下げて、真ん中にイモのつるをもってきて、表情が端にくるように撮っていたら最優秀賞になれたと思います。

春に植え付けたさつま芋の収穫。手入れが実って大豊作でした。このあとおいしくいただき家にも持ち帰りました。

入選

「ぼくも乗組員!!」

中谷 悦子
（兵庫・姫路第6団
カブ隊副長）

南極観測船「むつ」を見学。ビーバーたちも憧れの乗組員の気持ちに!!

入選

「狐の嫁入り行列」

佐々木 裕道
（新潟・新潟第15団
カブ隊保護者）

カブスカウトが津川の嫁入り屋敷で行列を披露。その後動物の銅像の真似をして戯れているところを撮影。

入選

「はい、ポーズ!」

森田 和彦
（埼玉・蕨第2団
カブ隊副長）

ミニ市内ハイクの後で。

入選

「平和の花を」

鍵本 裕次（広島）

広島では、毎年8月6日に平和公園で平和記念式典があります。そのときにボーイスカウトの少年たちが慰霊碑に手向ける花を配っています。その姿がとてもさわやかで印象的です。ご く自然な表情をそっと撮らせてもらいました。

入選

「お好み焼きづくり」

近藤 秋子（東京・豊島第15団
ボーイ隊隊長）

キャベツをきざんで、小麦粉をまぜて…うれしそうにお好み焼きをつくっているスカウトたち。

総 評

立った姿勢のままシャッターを押している写真が多いので、みんな同じようになっています。上から撮ったほうがいいとき、下から撮ったほうが効果のある場合があり、何を撮るかということを撮る前に考えて、撮りたいものが一番表現できるようなカメラ位置を決めて、シャッターを切ることが大切です。何を撮るかということを、シャッターを切る前に確認してください。目的がはっきりしているものがいい写真です。

全体がまんべんなく、記念写真的な印象が感じられます。全体を撮るのではなく、どの部分が一番いいかを撮る前にフレーミングしないといけません。写真は現代の社会の一部を切り取ったもので、切り取る場所によって見る人が感動したり、しなかったりするのです。

審査委員長　**田沼 武能**

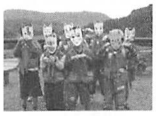
東京写真工専卒業後、木村伊兵衛氏のもとで修行、その後フリーに。高度成長期以前の東京下町の暮らしなどを撮影する。その後活躍の舞台を世界にひろげ、各国の子どもたちの写真を撮り続けている。1995年より日本写真家協会会長に就任。紫綬褒章など受賞多数。少年時代、現在台東第1団（東京第2隊）の前身大谷健児団でボーイスカウト活動に参加。

最優秀賞・優秀賞受賞者ヨロコビの声

＜少年の部＞

最優秀賞「ありがとうございます」
兵庫・姫路第6団　ボーイ隊　田中克朋くん
　人の表情が好きで、ボーイや学校の友だちの写真をときどき撮っています。今はボーイ隊で班長をしています。班長は大変というより楽しいです。活動で好きなのはやっぱりキャンプ。料理が好きで、卵料理が得意メニューです。

優秀賞「クリスマス会のケーキ作り」
茨城・水戸第8団　カブ隊　井上貴之くん
　すご～く嬉しいです。写真が好きで、いつもじゃないけどときどき風景など撮影しています。この写真はカブの1年目にやったケーキ作りで楽しい思い出です。チャレンジ章は10こ以上がんばってとっています。これで写真博士もとれるかな？



優秀賞「コーン！みんな狐に変身」
新潟・新潟第15団　カブ隊　佐々木京香ちゃん
　ビーバーといっしょに行った狐の嫁入り屋敷で、お面をつけたビーバーたちにカメラを向けたら勝手にかわいいポーズをとってくれました。（と照れながら電話取材に応えてくれました。なお、お父さんにも同じ活動のときの写真で応募いただきみごと入賞しました。✍）

＜青年・成人の部＞

写真 最優秀賞「カブラリー」
奈良・橿原第9団　カブ隊副長　吉岡新市さん
　子どもたちが生き生きとしているので、隊活動はいつもすんなりといい絵になります。普段は私は高校の写真部顧問をしており、生徒たちと一緒に写真を楽しんでいます。2年連続の受賞で、恐縮です。ありがとうございました。

優秀賞「ちかいの式」
京都・京都第60団　ビーバー隊副長　出石康之さん
　いつも集会でたくさん写真を撮っています。お配りすると、保護者の方々にとても喜ばれるんです。写真は、なかなかビーバーが「やくそく」を覚えてこられない様子がユーモラスで、ちょっと面白いかなと思って撮りました。ありがとうございました。

優秀賞「大豊作」
愛知・豊田第25団　ベンチャー隊隊長　草村　実さん
　団で借りているスカウト畑で毎年続けています。子どもたちに自然に感謝の心が芽生えます。写真はスカウト時代からの趣味で、昭和23年からいろんなスカウト活動を撮ってきました。（スカウティングも写真も、大ベテランの草村さんでした。✍）

全国ボーイスカウト写真コンテストは毎年開催されています。皆さんから応募いただく力作は、ボーイスカウトのPR資料類、機関誌（本誌）スカウティング、ポスター、カレンダーなど様々な場面で活用させていただいています。「これは」と思われる名場面、楽しい写真、次回もたくさんのご応募をお待ちしています。

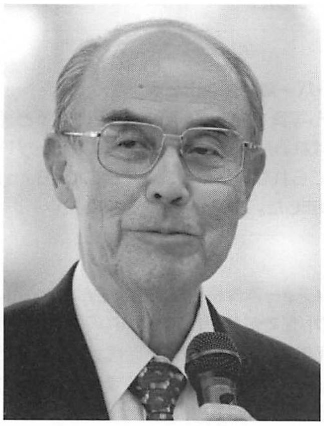
●スカウティング・フォト・ライブラリーについて

「力作」「名作」以外でも、何気ない写真がPRに役立つことがあります。
近年はデジタル媒体やカラー印刷物など写真を使う場面がとても増えています。
皆さんの普段の活動の様子など、お写真を提供いただけませんか？
「スカウティング・フォト・ライブラリー」のご案内はスカウティング本年3月号巻末に記載されています。ぜひ皆さんの写真をたくさんお寄せください。

日本連盟新しい役員の紹介

3月23日(木)に開催された理事会において、財団法人ボーイスカウト日本連盟の平成18年度からの新しい役員が選出されました。平成6年からこれまで12年間にわたり理事長をお務めいただいた佐波正一理事長が退任され、橋本綱夫副理事長が新たに理事長に就任しました。副理事長には古賀正一理事と廣瀬修理事が新たに就任し、上島真一郎常務理事は再任。

また、若山裕司事務局長が退任し、金井昭二教育グループ長が新たに事務局長に就任しました。



●理事長　橋本綱夫　(はしもと・つなお)

今、ボーイスカウト運動に対して、かつてない程の強い期待が寄せられています。次の時代を担う健全な青少年の育成に力を注がなければならないという社会の要請です。ボーイスカウト運動をよく知らない人からもボーイスカウトと聞いただけでそういう期待に応えてくれると思われています。
ボーイスカウト運動が長年にわたって蓄積したものを一層進展し、存分に力を発揮して社会の要請に応えていけるよう私も微力ながら全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いします。

ソニー株式会社　元副会長
略歴
昭和33年　ソニー株式会社　入社
昭和59年　同社　常務取締役
昭和63年　同社　専務取締役
平成 3年　同社　取締役副社長
平成 4年　同社　代表取締役副社長
平成 7年　同社　代表取締役副会長
平成10年　同社　相談役
平成14年　同社　顧問
主なスカウト歴
平成 9年　日本連盟　理事
平成10年　同　副理事長

●副理事長　古賀正一　(こが・まさいち)

学校法人市川学園理事長・学園長
略歴
昭和34年　東京芝浦電気株式会社(現東芝)　入社
昭和58年　東芝　電子計算機・OAシステム事業部長
　　　　　市川学園理事長
平成 8年　東芝　代表取締役副社長
平成13年　同社　常任顧問
平成17年　同社　顧問　現在に至る
主なスカウト歴
平成16年　日本連盟　理事

●副理事長　廣瀬　修　(ひろせ・おさむ)

株式会社サーベラスジャパン　アドバイザリーボード　ヴァイスチェアマン
略歴
昭和41年　株式会社高島屋　入社
昭和46年　同社　米国事務所主席駐在員
昭和47年　ゾーディアック社(カナダ本社)　日本駐在代表
　　　　　兼　日本ゾーディアック株式会社　副社長
昭和50年　日本ゾーディアック株式会社　代表取締役社長
　　　　　以後、SRIインターナショナル、アクセンチュア株式会社、株式会社ローランド・ベルガー・アンド・パートナー・ジャパン等の役員を経て
平成13年　株式会社サーベラスジャパン　アドバイザリーボード　ヴァイスチェアマン　就任　現在に至る
主なスカウト歴
平成12年　日本連盟　理事

●常務理事　上島真一郎　(うえしま・しんいちろう)

スエヒロ睦商事株式会社　顧問
略歴
昭和33年　スエヒロ食品株式会社(銀座スエヒロ)入社
　　　　　以後、同社代表取締役副社長、会長　歴任
　　　　　他、スエヒログループ各社役員歴任
主なスカウト歴
平成 6年　日本連盟中央審議会議長
平成 7年　日本連盟常務理事　現在に至る
　　　　　財政委員長、12NJ実行委員長他歴任
現在 東京・港第3団団委員長

●事務局長　金井昭二　(かない・しょうじ)

略歴
昭和47年　日本連盟事務局　入局
　　　　　以後、山中野営場勤務、総務課長、大会準備室長、奉仕部長等を歴任
平成13年　教育グループ長　就任
主なスカウト歴
元神奈川・横浜第72団シニアー隊長 等
元神奈川連盟トレーニングチーム

※　平成18年度の日本連盟理事・監事・評議員等は本誌7月号にて紹介する予定です。

佐波前理事長と並んだ新理事長、副理事長

2007 One World One Promise

ステップアップ100運動

第2年度フォローアップ!!

記念すべき2007年に向けて、2004年からスタートした各種記念事業。平成17年度から連盟を挙げて取り組みをスタートした「ステップアップ100運動」がいよいよ第2年度、「ステップ賞」の年を迎えました。改めて、第2年度の取り組みについてご案内します。

100周年記念事業　全体像

世界的に実施する事業

■100周年記念標章(ワッペン)の着用
■ギフト・フォー・ピース　2005年〜2007年
各国で実施する平和推進のためのプロジェクト活動
■第21回世界スカウトジャンボリー
2007年夏　於:イギリス
■サンライズ・セレモニー　2007年8月1日
各国でこの日の日の出を迎える世界一周セレモニー
■世界の記念行事　お祝いする日　いずれも2007年
(1)2月22日　B-P生誕150周年の誕生日
(2)8月1日　ブラウンシー島での実験キャンプが開催された日
(3)各国の連盟創立記念日(日本は4月13日)　など

我が国の取り組み

世界スカウト機構が提唱する事業(左記)に加え、主に以下の事業に取り組む。
■ステップアップ100運動　2004年〜2007年(当記事で解説)
■スカウトムート2005　2005年8月
於:山中野営場
■第14回日本ジャンボリー　2006年8月
於:石川県珠洲市
■ブラウンシー島再現キャンプ　再現キャンプを奨励するプログラムヒントを提供
■日本ボーイスカウト探訪100選(スカウティング・メモラビリア・ガイドブック)の発行
■B-P未翻訳本の刊行
■記念レセプション　2007年
■富士チャレンジキャンプ　2007年
など

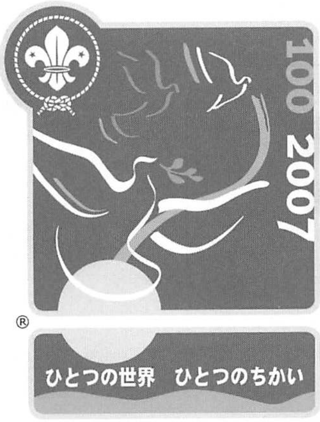
ステップアップ100運動とは

運動創始100周年の祝賀を、これからの100年に向けての力強い出発点にしようという趣旨で、2004年から2007年までの4か年度で日本連盟の組織を拡大活性化していくことを目的としています。

全国のすべての隊、団がスタートにあたる2004(H16)年を基礎として、毎年「進級促進」と「加盟員拡大」を目指していく運動です。

平成18年度はその第2年度、STEP賞に挑戦します。

その詳細をご紹介します。



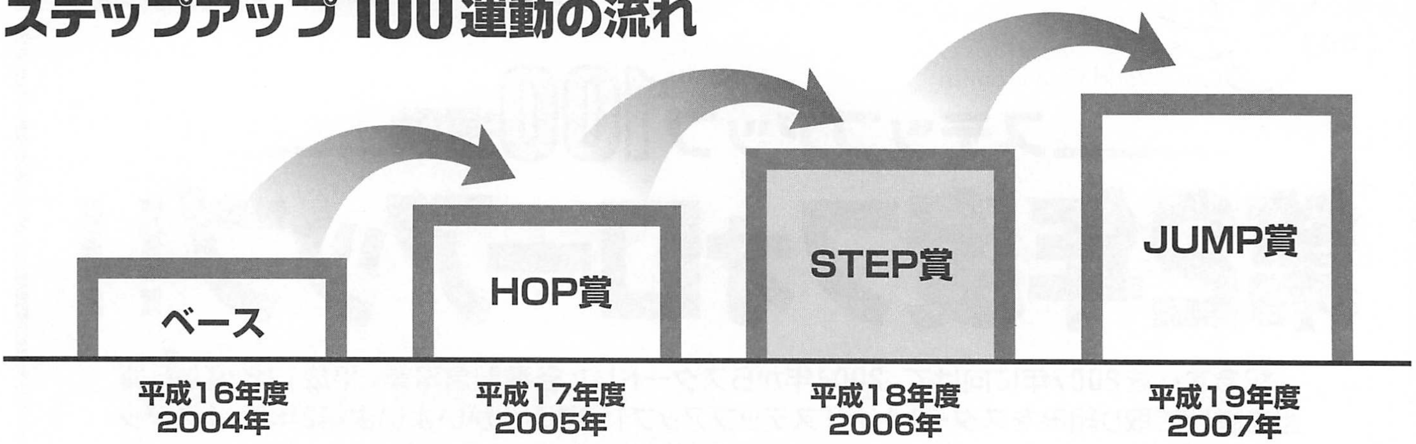
100周年記念標章

世界スカウト運動100周年のテーマは「2007：One World One Promise」です。このテーマをそれぞれの国の言葉で示したワッペンを、全世界で着用します。

第2年度(平成18年度)の顕彰のポイント

①第1年度(平成17年度)に「HOP賞」を受賞した隊・団は「STEP賞」の顕彰となります。
②第1年度(平成17年度)に「HOP賞」に該当しなかった隊・団は、本年度(平成18年度)が「HOP賞」の対象となります。
③前年度と本年度「HOP賞」に該当しなかったとしても、翌年度(平成19年度)に頑張れば「HOP賞」の対象となります。
④「STEP賞」の授与基準は昨年度の「HOP賞」の基準と同じです。顕彰の基準は次頁をご参照ください。
⑤ステップアップ100運動における「年度」について
•団(団委員)の顕彰基準は、前年度との加盟員数の比較です。平成17年度の当初登録と平成18年度の当初登録を対象とすることになります。
•各隊は、団で定めた各隊の上進をする月から1年間を年度とします。つまり4月上進の団は平成17年4月から平成18年3月までの1年間の成果が顕彰の対象となり、9月上進の団については平成17年9月から平成18年8月までの成果が対象となるわけです。

ステップアップ100運動の流れ



平成16年度の団の人数や、スカウトの進級状況がこれらの賞のベースになります。

団の基準、ビーバーからローバーまでそれぞれの隊の基準が別途定められていますが、いずれも平成16年度をベースに「これだけ増やす、これだけ進級する」という基準を達成した団や隊がそれぞれ、1年度ごとにHOP賞、STEP賞、JUMP賞を獲得していくことになります。

毎年それぞれの賞を達成していくことで2007年にJUMP賞達成となった隊や団には、日本連盟から賞状と記念品が贈られます。

※各賞を達成できない年度があった場合は、その翌年度にあらためてその賞に挑戦していくことになります。

対象ごとの主な基準 （STEP賞基準の概要）

■団	■ビーバー隊	■カブ隊	■ボーイ隊	■ベンチャー隊	■ローバー隊
・年度当初のスカウト数が平成17年度より10人増加 または ・団のスカウト数が「標準目標数」を満たした団 （標準目標数:BVS10人、CS20人、BS20人、VS10人、RS8人）	全ビッグビーバーがカブ隊に上進	スカウト全員がクリア章を取得し、チャレンジ章を1人平均7個以上取得	スカウト全員が1つ以上進級	スカウトの半数が1つ以上進級 （当事業限定でベンチャー章と富士章の間に仮の進級基準点を設けた）	隊で定めた奉仕活動等の目標設定を達成し、隊長らがそれを認める

上記はいずれも基準の概要です。詳しくは3月下旬より都道府県連盟を通じて全団に配布されている資料をご覧ください。

日本連盟ホームページでもご覧いただけます。トップ頁⇒インフォメーション⇒下段の100周年バナー⇒New 第2年度フォローアップ要領

平成18年度の取り組み 概要 （一例として、ボーイ隊のSTEP賞を紹介）

HOP賞
平成17年度
2005年

→

STEP賞
平成18年度
2006年

ボーイ隊は　平成17年度当初の級別スカウト数と平成17年度末の**進級者数**を対比する。

<全員が進級した例>

■当初数（平成17年4月ないし9月:隊の上進時期による）
ボーイ10人、初級5人、2級5人、1級3人、菊0人

計23人

対比

■年度末数（平成18年3月ないし8月）
（人数　**ボーイ0人、初級10人、2級5人、1級5人、菊3人：計23人**）
進級数　10人、　5人、　5人、　3人

計23人

この場合　進級率　23÷23×100=100%　達成

手続きの流れ

＜3～4月:9月上進の場合は8～9月＞

記録兼報告書　団委員長とりまとめ
↓
団担当コミッショナー
↓
地区コミッショナー
↓
県連盟コミッショナー
↓
日本連盟事務局
↑
STEP賞
↓
県連盟コミッショナー
↓
地区コミッショナー
↓
団担当コミッショナー
↓
各団委員長

3月下旬に、都道府県連盟を通じて各団にステップアップ100運動の詳細を説明する資料（「ステップアップ100運動第2年度フォローアップ要領」など）を配布しています。
その中に、各隊や団ごとに前頁で説明したスカウトの進級状況などを記入する用紙「記録兼報告書」がありますので、これに記入のうえルートを経て日本連盟に提出いただきます。
より多くの隊が2007年度にHOP、STEP、JUMPの3つの賞を着用できるよう、第2年度フォローアップの取り組み、よろしくお願いします。

「世界スカウト運動　創始100周年　記念事業」の関連資料が日本連盟ホームページにも掲載されています。
- **事業の紹介:パンフレット形式**
- **ステップアップ100運動実施要領**
- **同　第2年度 フォローアップ要領**
- **同　記録・報告書用紙**

それぞれ下記よりご覧ください。
http://www.scout.or.jp/j/info/pr/100nen.html

ステップアップ100運動第2年度フォローアップに関すること

●申請にあたって(お願い)

①団･隊一括で申請してください

申請は、団(団委員)･各隊の状況を取りまとめて一括して申請してください。隊が9月上進の場合、団の状況は約半年前の4月には確定していますが、隊の状況が確定する段階までお待ちいただいて、団内の状況を一括して申請をお願いします。団(団委員)が確定しているので先に申請するということも考えられますが、団内のスカウトと指導者が一緒に顕彰バッジをつけるように、ご理解とご協力をお願いいたします。

②STEP賞とHOP賞、種別で申請してください

昨年HOP賞を受賞した団で、本年度STEP賞の該当があるとともに、昨年は未達成であった一部の隊が新たに本年度にHOP賞の対象となるようなときは、「記録兼報告書」の用紙をコピーのうえ、HOP賞･STEP賞をそれぞれ別々の用紙でご申請ください。

●FAQ(よくあるご質問について)

Q 「対象者」のうち、「転入による移籍者や新規加入者の数を含めるか否かは各隊の裁量によります」とは?

A 年度が始まって早い時期ならば、転入による移籍者や新規加入者があった場合はぜひ含めていただきたいし、年度も終わり近くであれば年度いっぱいに活動しているスカウトと一律に考えるのは難しい面もありますので、各隊で良い方向に検討して決めてください。

Q ボーイ隊の顕彰において、「年度当初在籍スカウト全員が、1つ以上進級すること」とありますが、もう少し詳しく教えてください。

A 全員が1つ進級することが望ましいですが、仮に1人進級できなかったとしても、他の人が2つ進級すれば隊として100%となり達成できたことになります。

Q 1年目にビーバー隊がHOP賞を取得したが、カブ隊は取得できなかった場合で、2年目にビーバー隊からカブ隊に上進したスカウトがカブ隊でHOP賞取得に該当。ビーバー隊から上進したスカウトはすでにビーバーのときにHOP賞を取得しているがカブ隊ではどの賞を授与されるのですか。

A スカウトはビーバー隊でのHOP賞とカブ隊でのHOP賞の2個のHOP賞着用となります。同じHOP賞ですが、その貢献内容が異なるということです。

Q 1年目にビーバー隊が取得した時は途中入隊で(あるいは入隊していなくて) HOP賞をもらっていないスカウトが、2年目に隊としてSTEP賞を取得した時は、この途中入隊した(あるいは入隊していなかった)スカウトはHOP賞を授与されることになりますか?

A 当該年度に所属する隊員全員が同じ賞をつけます。従ってSTEP賞の着用となります。HOP賞ではありません。

Q ビーバー隊以外の隊は、年度途中で達成されるケースも出てきます。それを達成時点で申請することは可能ですか?

A 年度途中で目標が達成されたときも、団は「記録兼報告書」にすべての団内の状況をとりまとめて、一括して団委員長から団担当コミッショナーに提出してください。

Jamboree Information

ジャンボリー情報 ③

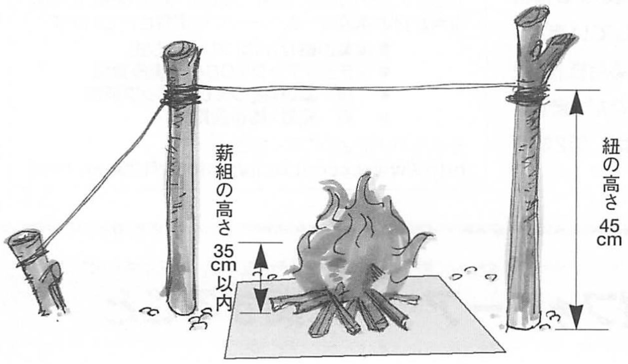
第14回日本ジャンボリー
2006年8月3日(木)～7日(月)
石川県珠洲市・りふれっしゅ村 鉢ヶ崎
テーマ 風の不思議を突っ走れ！
－Scouts Wave 100－

いよいよ近づいてきたジャンボリー。今月は参加スカウトに直接関連のある最新情報をとりまとめてご紹介します。

■選択プログラム関係

1．ジャンボリーチャンピオン班を決する「火起こしゲーム」

プログラムサイトの一つ「あいの風」は、各サブキャンプ(SC)でそれぞれ実施するプログラムとなりますが、全SC共通のプログラムとして「火起こしゲーム」が行われます。下記のルールに従って、各SCで最も優秀な班を選出し、ジャンボリーの閉会式直前のアリーナで、大観衆が見守る中でのチャンピオン決勝戦を行います。隊長の安全管理のもと各班事前訓練に取り組めるようご指導ください。



≪基本ルール≫

★規定の薪を使用して、着火材(新聞紙等)を用いず、マッチ5本以内で火を起こし、指定の高さの紐を焼き切る時間を競う。

①薪の種類、本数：ジャンボリーで配給される薪と同等の物。材種はクヌギ、コナラ、ナラなどの間伐材。本数は5本以内。

②マッチの本数：5本以内(2本以内で起こすことが望ましい)。

③使用する用具：ナタ、オノ、ナイフなど。

④紐の種類：麻紐(細めの物1mm程度)ただし、決勝戦では太紐(2mm程度)を用いる。

⑤直火は厳禁。

※競技には直接関係しませんが、紐の先に仕掛けを施し、おもりが落ちたり、ドミノを倒したり、ボールが転がり落ちて鐘が鳴るなど、プラスαの工夫も各班で考えてみてください。エキジビジョン競技のような評価がもらえるかもしれません。

2．エキスカーションプログラムの事前申込について

・エキスカーションプログラムは8月4日と6日に行われる場外プログラムです。

・エキスカーションプログラムの参加単位は「班」です。

・エキスカーションプログラムはすべて事前申込制です。

以下のスケジュールで申込手続きをします。詳細は①の申込書に添付される申込要領をご確認ください。

●参加申込スケジュール

① 4月下旬：参加申込書送付開始
日本連盟⇒各県連盟⇒参加隊

② 5月末日：参加申込受付締切
参加隊⇒日本連盟

③ 6月上旬：参加確定通知・参加費納入書送付
日本連盟⇒参加隊

④ 7月上旬：参加費納入締切
参加隊⇒金融機関

⑤ 7月中旬：プログラムチケット送付
日本連盟⇒参加隊

※参加申込受付締切、参加費納入締切期日は厳守してください。定員を超えた場合は、抽選になります。

※申込状況によっては中止となるプログラムもあります。あらかじめご了承ください。

※一部、バス車両長など参加隊指導者の方に引率をお願いするプログラムもあります。ご協力をお願いします。

●各エキスカーションプログラムの参加費・受入班数など

No.	プログラム名	所要時間	参加費	受入班数
1	能登に生きる生物	7	¥2,000	25
2	能登半島先端で「あいの風」を感じよう	8	¥2,000	25
3	ハーブクラフトと輪島温泉	8	¥3,000	10
4	平家の歴史を偲ぶ旅	6	¥2,500	25
5	塩作り体験	7	¥2,500	15
6	源平合戦(壇ノ浦の戦い)を探る	6	¥2,500	25
7	能登少年自然の家での大型カヌー体験	7	¥2,800	20
8	輪島塗沈金にアタック	7	¥4,000	10
9	ミステリーツアー	7	¥2,600	20
10	千枚田奉仕隊	6	¥2,500	25
11	君も海上保安官になれるか(※6日のみ実施)	8	¥2,200	150
12	金沢工業大学・アルタイル号で探そう無人島	8	¥2,100	10
13	山は動くか(YS-11)	7	¥2,000	20
14	ふるさと体験実習館(わたふじ染め)	7	¥2,600	10
15	能登海岸奉仕隊	7	¥2,600	25

・受入班数は1日あたりです。

・各プログラムの概要は3月号4頁、クラブスカウト春夏号5頁をご覧ください。

(※上の表は4月上旬の情報です。今後変更になるものもあります。4月下旬より配布される申込要領をご確認ください)

3．マイプログラムについて

大会で設定されたプログラムへ参加するだけではなく、班の自発的なプログラムの展開を奨励し、班制教育の活性化とベンチャープロジェクトへの繋がりを考えることを主旨として、マイプログラムを実施します。これは、班で企画したプログラムについて、JHQ選択プログラム担当者が指導・助言し、実施結果を認証するものです。内容によりパイオニア賞の一部認定を受けることもできます。

≪実施方法≫

□スカウトは、班で企画したマイプログラムについてJHQ選択プログラム「マイプログラムコーナー」担当者に企画書を提出し、アドバイスを受け実施します。

□班で実施した結果は、JHQ選択プログラム「マイプログラム」コーナー担当者に報告し、認証を受けます。

□受付は、「天空の風サイト（わくわく夢らんど）」で行います。

≪プログラム企画にあたっての留意点≫

□会場外での宿泊を伴うものや、海および川等水辺でのプログラム、また危険が伴うプログラムは除外します。

□プログラム実施に必要なものは、各班で用意します。

■信仰奨励プログラム関係

1．テーマの設定

毎日テーマ（きょうのモットー）を設定し、テーマに基づいた信仰奨励プログラムを展開します。

8月3日　仲よくとけこもう　Make friends with everyone.

8月4日　身につけよう　Learn, and acquire knowledge and wisdom.

8月5日　さらに深めよう　Study harder! Train more!

8月6日　感謝の心　Have always a grateful mind.

8月7日　新しいたびだち　Make a new start!

※1日の信仰奨励プログラムは、朝のFM放送・スカウツオウン、テーマの掲示、宗教館（JHQパビリオン）またはSHQ信仰奨励センターでの展開、夜のFM放送・スカウツオウンを基本とします。

2．レリジョン・アワードの設置

信仰奨励プログラムのすべてに参加したスカウトには、Religion Award／レリジョン・アワードを授与します。

≪アワードの項目≫

①ジャンボリー期間中に自分の家の宗教（派）か、自分の興味を持った宗教（派）の礼拝作法を知る。

② JHQ宗教館で実施する体験コーナーまたはSHQ信仰奨励センターで実施するプログラムに1回以上参加する。

③スカウツオウンに3回以上参加する。

④宗教儀礼に参加する。

⑤毎日の善行に取り組む。

信仰奨励プログラムのガイドブック(A5判)をスカウト、各SC担当者、指導者に6月に配布予定です。詳細はこちらをご覧ください。

3．宗教儀礼会場

8月5日の午前中に行う宗教儀礼は、各教宗派ごとに下記の会場での実施を予定しています。

（教宗派ー場所）
神道ー野球場
仏教ーアリーナ
カトリックー多目的グランド
日本聖公会ー9SC
プロテスタントー7SC
末日聖徒イエス・キリスト教会ーグラウンドゴルフ場
金光教ー8SC
世界救世教ー5SC
（調整中のものを含みます。今後変更となることがあります）

■その他、会場での生活関連

1．携帯電話

ジャンボリー参加スカウトの携帯電話の携行およびその使用について、各参加隊での指導をお願いします。

今回のジャンボリー会場は、住宅地を含む入り組んだエリア構成です。携帯電話の使用にあたっては、一般的なマナーを守ることはもちろんですが、ジャンボリー会場での使用においては、いくつかの制約があります。次の事項をスカウトに十分に認識させてください。

①電波の届く範囲には、多くの地元市民が居住し生活しています。14NJ会場内で、一度に多数の携帯電話が使用されると、通話の制限がかかり、救急電話がつながらないなど多大な迷惑をかけてしまうだけなく、大会の業務で使用する携帯電話にも影響を与えます。

②大会の会場内には、個人の携帯電話の充電に使用できる電源（コンセント）はありません。「充電はできない」ものと思ってください。

2．無線：CB無線は持ち込まない

ジャンボリーでは、円滑な大会運営のため、本部等の業務でトランシーバー（無線機）やワイヤレスマイクを多数使用します。市民バンドトランシーバー（CB無線）は、市民に開放された27メガヘルツ付近の電波を使用しているため、会場内や周辺で同時に使用すると、「混信」などの電波障害を起こします。本部関係の連絡業務のみならず、周辺の業務用無線にも支障が出ますので、市民バンドトランシーバー（CB無線機）は持ち込まないようご協力をお願いいたします。

アマチュア無線機については、法令に従った使用をしてください。

3．落とし物・遺失物

落とし物は拾得した場所の近く（SC内であれば各SC野営管理班、プログラムエリアであれば各プログラムの受付等）に保管し、名前等から持ち主がわかる物は所属するSC野営管理班を通じて返却します。数日たっても持ち主がわからない場合には、大会本部（JHQ）野営管理部に保管します。

もし、落とし物をしたら、落としたと思われる場所の本部等をたずね、見つからなければSC野営管理班か大会本部野営管理部に問い合わせてください。

4．救護所

会場内に、医師や看護師のいる「SC救護所」と「中央救護所」（会場中央オートキャンプ場内）が設置されます。ジャンボリー会場に到着したら、どこにあるのか場所を確認しておくよう、各班にご指導ください。また、大きな怪我や病気の際には、会場外の病院で診察・治療が受けられます。場外病院での治療費等は参加者の負担となりますので、健康保険証の写しを常時携行させてください。

5．その他注意事項

会場内には、地元住民の方が暮らす民家や珠洲市の施設等があります。大会として利用できるサブキャンプやプログラムエリア以外には立ち入らないよう、また、本部として業務をしている箇所に不必要に立ち入らないよう指導の徹底をお願いします。

連　載

隊活動のヒント

vol.2 カブ編

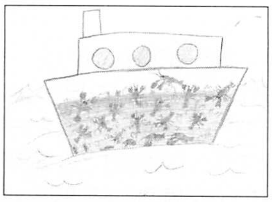
キーワード：つり・観察・飼育・組集会・いのち・春～秋

アクティビティ名	ザリガニつり
ねらい	自然の中で生きる生き物について関心をもたせる。
内容	組集会～隊集会（ザリガニつり）
指導上のポイント	ザリガニつりをするだけでなく、組集会ではザリガニの生態や生理について調べたり考えたりさせよう。つかまえたあとは自然に戻す、あるいは家で飼う場合は世話のしかたを教えたり調べさせたりするなど、動物のいのちを大切に思う心を育てよう。
準備物	画用紙、マジック・クレヨン等

春の集会　場所：神社の中の沼　テーマ：いのちを大切に

ある組では、こんな紙芝居ができあがりました。

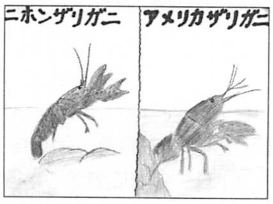
①これからみんなにザリガニのお話をします。



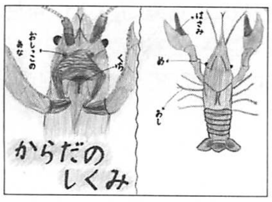
②今から70年ほど前に、アメリカからやって来ました。ウシガエルっていう食べられるカエルのえさにしていたんだよ。船ではたくさん運ばれて来たんだよ。それはそれはた～くさん。でもね･･･

③長い船の旅につかれちゃったのね。あんちゃん：「弟よ、オレの分まで日本でがんばるんだぞ。」弟：「あんちゃん！死なないで！」という具合に、たくさんのアメリカザリガニが死んでしまいました。

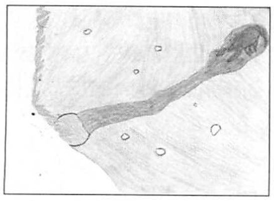
④そして生きて日本についたのは、たったの20ぴきでした。今では日本中にいます。北海道にはいないのですけどね。昔からいるニホンザリガニはいるんだよ。



⑤アメリカザリガニは、ニホンザリガニよりとても大きいんだよ。しかも泥水の中でも生きられるから、今では日本にたくさんいます。ニホンザリガニはきれいな水の中でしか生きられないのです。



⑥目や口がわかるかな？ザリガニにだって、おしっこのあながあるんだよ



⑦ザリガニは、土の中にもぐって冬眠します。今日はもう冬眠から起きてるといいなぁ。

隊集会後の隊長とスカウトの会話から

スカウト(多数)：隊長！ぼく、このザリガニ飼う～!!
隊　　長：そうか。じゃあ、世話をきちんとするんだぞ。きちんと世話をしないと、死んでしまうこともあるからね。
スカウトたち：･･･(しばし無言、そして･･･)
あるスカウト：隊長、ぼくやっぱり沼に帰してくる!
あるスカウト：隊長、ぼくは家でちゃんと世話するよ!

スカウトたちは一人ひとり自分がどうするかを考えて行動してくれました。

上記の会話のあと、家で飼うと言ったスカウトたちには、下のような心がまえを渡しました。

ザリガニをかうための　心がまえ

カブ隊　隊長

大きなはさみをふりあげて、おこった、おこった!!
まっ赤な体の、いさましいザリガニ。
水べでは、はさみはりっぱなぶきだ。
でも、きみには通用しないね。
きみが、ちょっと引っぱれば、きずつくし、
世話をなまけたりすると、死んでしまうかもしれないよ。
ザリガニをだいじに育てて、生き物どうしの仲間としてつきあえるかな？
ザリガニをかう前に、次の約束が守れるか、考えてみよう。

◎自分がリーダーになって世話をすること。
◎しいくケースのようすを、毎日、少しでも見ること。
◎ザリガニは5年くらい生きることもあります。とちゅうでなげださずに、さいごまで世話をすること。
◎かえなくなったら、ザリガニの住みやすいところに帰してやること。
◎死んでしまったときは、土にうめてあげること。

★アクティビティ大募集★

このコーナーでは、皆さんが隊で実践したプログラムやアクティビティを募集しています。スカウティング編集部「隊活動ヒント・アクティビティ係」まで、どしどしお寄せください。また、編集部と共同でアクティビティを実践してくださる隊も募集いたします。皆さん、ふるってご応募ください！(目次ページ下段の宛先まで)

全国ボーイスカウトゆかりの地探訪

②カブ隊発祥の地・神戸～兵庫

現在のカブスカウトの源流であるウルフ・カブ隊が日本人によって初めて生まれたのは、今から83年前の大正12(1923)年12月、神戸市須磨でのことです。当時の神戸市長石橋為之助氏の要請で、故古田誠一郎氏(日本連盟先達)が自ら隊長となって創設され、いちはやく日本連盟に登録されました。

それ以前にも大正7年に横浜でボーイスカウト隊の指導に当たっていた英国人のグリフィン氏によるウルフ・カブ隊や、神戸のカナディアンスクール内にカナダ人によって組織されていたという記録がありますが、日本人によるカブスカウト活動はこの須磨向上会ウルフ・カブ隊から始まったのです。

ウルフ・カブの像は、昭和55(1980)年に建立され、7月22日に除幕式が行われました。兵庫連盟発足30周年記念事業の一環として建立されたこの像は、神戸市在住の彫刻家、新谷琇紀氏によるブロンズ像で、御影石の台座に取り付けられています。モデルに選ばれたカブスカウト3人が何度もアトリエに足を運んでデッサンされたとのことです。

昭和55年の除幕式の様子。2列目右手より、古田先達、渡邉総長、楢崎兵庫連盟連盟長、杉村同副連盟長、八木京都連盟副連盟長、宮本滋賀県連盟理事長。1列目中央に佐々木滋賀連盟県コミッショナー。(当時の役職)

碑文:ウルフカブ像に向かって右手に、碑文がある。

無心に天を仰いで二指のサインをしているこの像は、過去の歴史を語り、それを正しく受け継いで、未来に向かって限りなく続くことを願っているかのように。それはまた平和を象徴する天使の小鳩のように。

この一文は建立当時の高木兵庫連盟理事長が、建立の報告文に記されたものです。

瀬戸内海に臨む源平伝説ゆかりの須磨浦公園から、その像は今も未来に向かってカブサインを掲げています。

■推薦の言葉

兵庫連盟 理事長

山田 知輝

25年前、とても天気のよい夏の一日、私もこの像の除幕式に出席していました。像にかけられた白い幕が除かれたときには参列者から「おおっ!」という歓声が上がるほど、その像がとても印象的だったことを覚えています。阪神・淡路大震災も無事乗り越えた像ですが、4半世紀を過ぎだいぶ傷んできましたので、昨年県連盟の55周年を機に、像を磨きました。国道2号線沿いの眺めのよい場所です。ぜひお立ち寄りください。

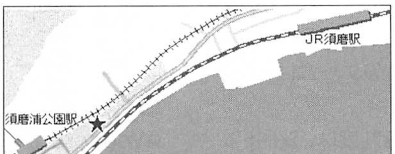
像のモデルの一人

富士 敏幸さん

ＪＲの車窓から像をときどきなんとなく見ていましたが、そういえば私がモデルをした像だったんですね。当時のことはあまりよく覚えていませんが、私は中学生いっぱいくらいまで楽しくボーイスカウトを続けていました。懐かしいですね。

■アクセス

山陽電鉄須磨浦公園駅から公園内を東へ約500m。徒歩3分。国道2号線沿い。JR須磨駅からは西へ約1.5Km。徒歩約15分。公園内でのキャンプは不可。



国道2号線とJRの線路のむこうは瀬戸内海

原点をたどるシリーズ　③－5

ウッドクラフトとは

中村　知　1966(昭和41)年連載

このシリーズはスカウティングの原点に繋がる空気のようなものを、比較的新しい指導者の皆さんにも感じていただこうということで、本誌のバックナンバーから価値あると思われる記事をそのまま再録・紹介しようというものです。
ページの都合で回の区切りが当時のものと異なることがあります。

Hillcourtの本には255～7と、270、282、306ページにシートンのことが出ている。略記すると――

○1906年の7月下旬、小さい本が郵送された。本の名は“The Birch-bark Roll of Woodcraft Indians”という。著者は米国在住の英人Ernest Tompson Setonである。

○ベーデン-バウエルは返事を書いた。「私も、あなたのように、少年たちのため、スカウトという名の教育法について本を書こうとしていることを申し上げたら、さぞあなたは、興味をもたれるだろうと思います。あなたのお仕事が、私に特別な興味を与えたことは申し上げるまでもありませんので」と。

○10月30日、46歳の博物学者と49歳の将軍とは昼食をともにした。場所はSavoy Hotel。シートンは盛んにインディアンごっこについて語った。彼が本を送ったのは、英国においてインディアンごっこを始めてもらいたいため各方面の知名の人に送ったもので、そのひとつがベーデン・パウエルの家についたわけ。しかし、そんなものが英国の少年たちの興味をひくかどうかについては疑問がある。

○その後、ベーデン-パウエルは、シートンに、自著“Aids to Scouting”を送った。それとともに、近日起草しようとしている“Scouting for Boys”の資料を送った。それに手紙も出した。

○手紙には、これによって私案の大要がおわかりと思う。けれども私は、新規の組織を作ろうとは思っていない。既設の青少年団体が利用してくれればそれでよろしい。もし、私にご協力くださるならば幸甚です。われわれは前途有望ですね、と。

○その後、2人は再会につとめたが多忙のため果たさず手紙のやりとりだけは続けた。シートンの考えたゲームを用いる許可を得た。シートンのほうは、ベーデン-パウエルの援助によって野営法の部分を改訂した。

○1907年のブラウンシー島での実験キャンプで、実施した「鯨とり」のゲームは、シートン作のものであった。

○ボーイスカウトの技能章制度は、シートン方式の、Honour章にならった。(ヒルコート本282ページ)

(本稿のシートン方式のところを参照されたい)

余談になるが、10月30日という日は、ベーデン-パウエルにとって因縁の深い日付である。

○1876年10月30日は、彼が19歳で、初めて陸軍士官の軍服で、汽船セラピス号に乗って、初めてのインドへの旅にポウツマス港を立った日。

○同年同月同日――つまりこの日、ビクトリア女皇はインド皇帝の称号を名のった。そのインドに向けて彼は人生の門出をふみ出したのである。

○1906年の10月30日、シートンと会見す。(前述の)

○1912年10月30日、55歳にして23歳のOlave Soamesと結婚。

○1913年10月30日、長男Peter生まる。Peterは後、結婚したがその夫人も10月30日生。

かように、シートンとは、会食したり、意見を交換したり、手紙をもってやりとりしたけれども、ダン・ベアードとの交渉については、何もなかったようで、その証拠となるような文献は見当たらない。

その5（終稿）

前回のところで、ベーデン-パウエルと、トムソン・シートンとの関連の一部、すなわち、最初の出会いについて書いたのであるが、シートン方式のインディアンごっこを土台とするウッドクラフトを、スカウティングにおいて、どのように考え、どのような措置に出たかは、1907年から1919年にいたる12年あまりの長いあいだ懸案だったようである。

そのひとつの問題は、シートンの弟子のジョン・ハーグレイブ(John Hargrave)という人が、英国においてインディアンごっこをやり始めたことからおきるのである。

これについて、レイノルズ著「スカウト運動史」の第16章「ウッドクラフトと訓練」(Woodcraft and Training)に詳細に書かれている。その訳文は本誌37年4月号の22～24ページと、5月号22～25ページに出ているから参照してほしい。私は、本誌のバックナンバーを持っていない読者のため、ここに、かいつまんで記したいと思う。このレイノルズの文は、まことに重要な文献である。したがって、私の結論への糸口になるからでもある――。

問題の人物、ジョン・ハーグレイブは、自然観察と野営訓練担当のコミッショナー(英国では理事)に新任されると、さっそく、「ウッドクラフトとキャンピング」と題する本を書いた。彼のいうウッドクラフトとは、シートン著の“The Book of Woodcraft”および“Birch-bark Roll”から多くの示唆をうけたものであった。それは前述したように彼はシートンの弟子だからである。この本は、少年たちを喜ばせ、戸外活動をすすめた。ときあたかも第一次世界大戦直後だったことが、戦時中の反動として野外活動をもりあげたともいえよう。

ところがこのシートン方式に対して反対論が出た。それは、英国ではいくら探しても、炊事具を作るだけの大きさのカバの木なんかない――など。けれどもこれとは逆に、少年たちには好評で、ロンドンのある隊では、営火に美しいインディアンスタイルであらわれたり、雷鳥とか鷹の眼と名づける称号を授けるテストをしている隊があらわれた。彼ら少年たちは、ウッドクラフトとは、インディアンごっこなのだと解釈したらしい。

こういう傾向は、セレモニーのやり方にも波及してインディアン式のセレモニーになりかけた。これはベーデン-パウエルの構想の土台である騎士のセレモニーと異質である。そのころ、生まれかけたローバー部門の叙任式はナイトの方式を採用する考えだったからこの問題は深刻となった。

― つづく

隊長への手紙　信仰心を育むために　NO.61

～信仰を奨励するということ～

プログラム委員長　上道　小太郎

スカウトとなるためにたてる「ちかい」の最初に、「神（仏）と国とに誠をつくし･･･」とあります。我が国のスカウト運動の基本を定めた教育規定の第１章には、「本連盟は、加盟員が、それぞれ明確な信仰をもつことを奨励する。」と書かれています。

幼くして父を亡くし、母の慈悲深い愛につつまれて育ったベーデン-パウエル卿は信仰心がとても篤く、青少年の健やかな成長と公民としての資質の形成には、信仰が大きな役割を果たすと考えられたのは当然のことでした。スカウト運動は、特定の宗教や宗派の考えに基づく教育をすることが目的ではありませんが、スカウト教育にとって、信仰は非常に大切な要素です。

ビーバースカウトからローバースカウトまでの各年代層に応じて、かつ一貫した教育を目指しているスカウト運動において、どのようにして青少年たちを明確なる信仰に導くかは、重要な課題です。これまで、日本連盟では、各教宗派のご協力を得て、宗教章を制定し、富士章取得要件の一つとして「宗教章を受章するか、信仰に近づくための奉仕活動を行う」こととしてきました。しかしながら、「信仰に近づくための奉仕活動」をどのように認定するか基準が明確でないことや、過半のスカウトが、富士章にチャレンジするときになって初めて宗教章と出会うこと、したがって宗教章の取得数が極端に少ない（取得該当スカウト登録数の1％未満）など、課題が指摘されてきました。

ビーバーやカブの進級課目には、それぞれの年代に応じて、信仰心を自然に育むことのできるような課目が適切に配置されていますので、指導者の皆様にはこれらを効果的に活用して子どもたちに信仰心の芽生えを促していただきたいと思います。一方、ボーイやベンチャー年代のスカウトにとって、宗教章までの道程となり、年代の特性に応じて信仰への導きができるよう、ちかいとおきての実践を深めるためのスカウツオウンの実施などに重点を置いた新たな「信仰奨励章」を制定すべく、宗教関係代表者会議や県連盟コミッショナー会議等ともご相談しながら検討を進めております。

いずれにせよ、指導者の皆様には、スカウト運動における信仰への導きの大切さについて、あらためてご認識いただき、日ごろのスカウト活動の中で、一人ひとりのスカウトの心に自然に信仰心が育まれるよう、一層のご尽力をお願いいたします。

おすすめの一冊

日本の子どもたちの規範意識がどんどん低下しているといわれています。社会のルールは「人を思いやる心、自分を大切にする心を育てる」ためにあると著者は述べています。この本に書かれた50のルールは、カブの「やくそくとさだめ」やスカウトの「おきて」に通じるものがあります。正しいことを正しいといえなくなっている大人が読んでも、心に響く本です。

『みんなのためのルールブック
～あたりまえだけど、とても大切なこと～』
ロン・クラーク 著
亀井 よし子 訳
出版　草思社
定価　999円（税込）

INFORMATION

MAY 2006

日本連盟からのおしらせ

■スカウト運動推進委員会(第14回)の開催(報告)

日　　時：3月11日(土)13：00～18：00
場　　所：東京・ボーイスカウト会館
出　　席：和田委員長他5人
協議事項：1.「指導者養成訓練体系検討特別委員会検討のまとめ」答申の今後
2. 教育本部常設委員会の課題検討進捗状況について
3. スカウト運動推進に関する検討課題理事会の分担課題について
4.「新アクションプラン」の項目立てについて

■3月教育本部常任会議の開催(報告)

日　　時：3月12日(日)13：00～15：45
場　　所：東京・ボーイスカウト会館
出　　席：伊藤教育本部コミッショナー他11人、参席1人
協議事項：1. 新指導者訓練体系について
2. 平成17年度各委員会の事業の評価について
3. スカウト運動推進に関する検討課題への対応および各委員会間のすり合わせについて

■評議員会(第3回)の開催(報告)

日　　時：3月18日(土)14：00～16：00
場　　所：東京・国立競技場
出　　席：佐波理事長他60人
協議事項：1. 平成18年度事業計画(案)について
2. 平成18年度収支予算(案)について
3. 理事・監事の選任について
4. 顧問、相談役、参与の選任について
5. スカウト運動推進に関する検討課題について

■第22回APRスカウト会議実行委員会(第2回)の開催について(報告)

日　　時：3月19日(日)13：00～15：00
場　　所：東京・八重洲倶楽部
出　　席：橋本委員長他10人
協議事項：1. 2005年12月APRスカウト委員会における協議について
2. APRサーキュラー2006年第1号による周知について
3. 2006年3月APRスカウト委員会における協議について
4. 会議ロゴ・マスコットについて
5. 会議ブリテンの作成について
6. 2006年4月APR事務局との事前会議について
7. 今後の準備について

■理事会(第3回)の開催(報告)

日　　時：3月23日(木)14：00～15：30
場　　所：東京・尚友会館
出　　席：佐波理事長他16人
協議事項：1. 平成18年度事業計画(案)について
2. 平成18年度収支予算(案)について
3. 評議員の選任について
4. 顧問、相談役、参与の選任について
5. 傷害共済運営委員会委員長の選任について
6. 常任理事会の設置について
7. スカウト運動推進に関する検討課題について

■14NJ専門部会長会議(第2回)の開催(報告)

日　　時：3月25日(土)12：00～16：30
場　　所：東京・金刀比羅宮東京分社
出　　席：西村委員長他12人、参席2人
協議事項：1. 運営センターについて
2. 各専門部会の進捗状況と専門部会間の調整事項について
3. 参加者宛事前送付資料について
4. 今後の予定について　　　他

■トレーニング委員会(第4回)の開催(報告)

日　　時：3月25日(日)13：00～26日(日)11：00
場　　所：東京・ボーイスカウト会館
出　　席：戸部委員他5人
協議事項：1. 平成18年度県連盟開設訓練コースの開設承認について
2. トレーナーの休務規定改定に伴う移行措置について
3. 平成17年度トレーナー研究集会の評価と今後について
4. WB実修所評価表の改訂について
5. 平成17年度事業評価について
6. 平成18年度事業について

■中央名誉会議(第3回)の開催(報告)

日　　時：3月26日(日)11：00～17：00
場　　所：東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
出　　席：鈴木中央名誉会議議長他10人
協議事項：1. スカウティング褒章について
2. 平成18年度の表彰審査について
3. 全国大会表彰式について

■お詫びと訂正

3月号12頁に以下の誤りがありました。大変失礼いたしました。
訂正し、お詫び申し上げます。
(誤)アラブ地域の欄冒頭にトルコとイギリスが入っている
(正)ヨーロッパ地域の欄末尾にトルコとイギリスが入る
※修正した頁のPDFデータを下記アドレスよりダウンロードいただけます。ご活用ください。
http://www.scout.or.jp/j/info/pr/teisei/top.html

ご支援ありがとうございます

＊維持会員(敬称略)　スカウト運動を財政面からご支援いただいてる個人・法人会員の方々です。

2006年2月度

【北海道】
森　豊
BS函館10
BS滝川1
BS室蘭7
【岩手】
和田　伸幸
嘉村　耕
和田電気工業(有)
【宮城】
菅野　五郎
【秋田】
BS秋田20
【福島】
江尻　陽二郎
大高　紀元
【埼玉】
牛山　佳久
岡　銀二郎
澁谷　昌彦
【千葉】
佐藤　一石
【神奈川】
竹宮　帝次
木村　耕三
【東京】
BS品川1
BS品川2
BS品川4
BS品川6
BS品川8
BS品川9
BS品川10
BS品川11
広田　忠三
【新潟】
斉藤　公一
鈴木　昭
馬場　幸雄
山田　悌治
グリーン産業(株)
アドバンエンジ(株)
酒井　忠正
南雲　重孝
(株)遠藤製作所
近藤　健
(株)新潟ケンベイ
【石川】
森田　了栄
荒田　正信
小路　孝
【福井】
上嶋　浩二
BS武生5
浅田　康次
【長野】
黒木　健一
伊藤　行雄
直富商事(株)
【岐阜】
遠藤　克己
遠藤　真弓
【静岡】
静岡鉄道(株)
石川　博敏
大橋　光男
柿澤　安守
牧　一雄
牧野　聖修
大竹　徹也
戸田　道明
長田　璋
渡辺　正彦
高橋　勲
望月　卓也
近畿日本ツーリスト沼津支店
上川　陽子
寿産業(株)
小野　健吾
【愛知】
丹菊　仁喜男
濱中　勲
寺部　一威
肥田　荘治
(株)日の丸
林　永治郎
BS豊橋9
平田　新二
加藤　伸子
【三重】
内山　実
【滋賀】
笹井　武
【京都】
出石　康之
【兵庫】
(株)グロウアップ
岡田　勝
【奈良】
枝村　浩平
【和歌山】
塚田　崇博
【大阪】
降旗　一雄
BS大阪92
伊東　徹二
【鳥取】
門脇　好登
【岡山】
脇本　富治
西田　全司
【広島】
猪野　明雄
【山口】
黒神　公直
【香川】
宮野　義久
【福岡】
井手　満
【長崎】
山国興産(有)
岩崎　宏司
【日本】
古賀　誠
(株)ワールドハット
(株)三友システムアプレイザル
森　芳衛
白井　尭子
佐野　哲也

ローカルホットライン　HOT LOCAL LINE

▣……団
☒……地区
■……都道府県連盟
◇……その他

行事報告
活動報告
…etc

団・地区・都道府県連盟だより

東京

☒ 世田谷地区“スカウトフェスティバル”

世田谷地区　地区広報誌担当　臼井 良一

3月18日、世田谷地区結成45年を記念した“スカウトフェスティバル”が駒沢屋内球技場で“手をつなごう”のテーマのもと、約1,000人のスカウト仲間が集って45周年を祝いました。

世田谷地区は東京連盟の中で最多の登録数を誇り、各団は活発な活動を展開しています、一番の自慢は地区の結束力です。世田谷地区内22こ団を分担して受け持つ団担当コミッショナーを中心に団と団の交流が盛んに行われ、すべて知り尽くした家族どうしの付き合いが実現しています。

“スカウトフェスティバル”は、ビーバーとカブのスカウトを対象にボーイのお兄さんやお姉さんがゲームを作って楽しませてくれるプレイベントと式典の二部構成で実施されました。式典では、世田谷区長から奉仕活動に貢献された方への感謝状贈

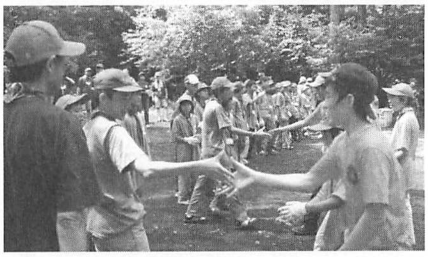
呈や地区の歴史や各団の活動を映像で紹介しました。

今回の45周年事業は、ビーバー・カブ中心の“スカウトフェスティバル”と昨年夏、山中野営場でボーイからローバーを対象にした“地区キャンポリー”の二つの行事が柱になりました。山中野営場“懐かしの森”へ300人を超える仲間が集い、5つのクラスに分かれた4泊の野営は、地区の結束をさらに強める思い出の行事となりました。

“スカウトフェスティバル”の最後に地区コミッショナーは“手をつなごう”を呼びかけ、広いフロアーでスカウトとスカウトが手をつなぎ「せたがやちく いつも げんき!」と大声で唱え、すべての周年行事が閉幕となりました。

スカウトフェスティバル

地区キャンポリー



岩手

⊡ 発団40周年

千厩第1団　ビーバー隊隊長　奥玉 昌代

当千厩（せんまや）第1団は、昨年の12月23日発団40周年記念式典を盛大に開催することができました。

一関市長を始め、関係者90人が集いスカウト談義に花を咲かせることができました。この小さな団が、多くの賞状の披露に始まり、関係者一同これからも大いに協力する旨のお話をいただき、小さな団を脱却する日が近い印象を多くの人に植え付けることができました。

ボーイスカウト岩手連盟千厩第1団

健全育成、社会奉仕誓う

一関 40周年祝い記念式典

日本ボーイスカウト岩手連盟千厩第一団（千田恭平団委員長）の発団四十周年記念式典が二十三日、一関市千厩町のパレス・スズキ「マリアージュ」で開かれた。青少年の健全育成と社会奉仕、環境美化などに力を注いできた四十年の歩みを振り返り、今後一層の活動充実に誓いを新たにした。

式典には隊員や歴代役員ら約百人が出席。千田団委員長は「関係各位のご支援、ご協力のおかげで節目の年を迎えることができた。小さな団ではあるが、これからも一生懸命に活動していきたい」とあいさつした。

同団がこれまで受賞した各種表彰を隊員たちが紹介したのに引き続き、永澤宏平初代団委員長、小野寺維久郎初代隊長、千厩消防署川崎分署に感謝状を贈呈した。

同団は昭和四十年十一月、千厩ロータリークラブをスポンサークラブに発足。各種奉仕活動を通して、隊員たちの心身の鍛練に努めてきた。現在では千厩川や北上川などの水質保全など、環境美化活動には特に熱心に当たっているほか、五十九年から始めた一関—千厩間の夜間ハイクも、活動の大きな柱になっている。

ボーイスカウト千厩第1団の40周年式典で、これまでの各種表彰受賞歴を紹介する隊員たち

岩手日日新聞（2005.12.24）

40年の歩み一冊に

ボーイスカウト千厩第1団 記念誌が完成

一関市千厩町を拠点に活動する、日本ボーイスカウト岩手連盟千厩第一団（千田恭平団委員長）の発団四十周年記念誌が完成、このほど行われた記念式典の席上配布された。活動の歩みや歴代役員、伝統行事「夜間ハイク」の記録などの資料とともに、表彰歴や創立当初からの活動の様子を記録した写真などを収録した。

記念誌はA4判、三十ページ。活動記録では、昭和四十年十一月の発足から現在に至るまで、各種奉仕活動や参加事業、表彰歴などを六ページにわたり網羅、同団の歩みが一目で見渡せる。

表彰歴の中でも近年は、県環境衛生組合表彰（平成十二年）千厩地方振興局河川愛護感謝状（十四年）県水資源貢献団体表彰（十五年）など、環境関係で多数受賞。同団が力を注いできた水質浄化をはじめとする環境保全活動が実りを上げていることが分かる。

昭和五十九年から毎年実施、二十二回を数える一関—千厩間夜間ハイクでは、参加回数に応じた三百人を超える完歩者の一覧や最年少、最高齢参加者などを記録。発団式を前にした規律訓練（昭和四十年）に始まる五十三枚の写真や、昭和五十年代から六十年ごろの感想文など四編も収録され、スカウト活動に一生懸命打ち込んだ隊員たちの姿が共感を呼ぶ。

千田団委員長は「初代のスカウトたちは既に五十代となり、三世代にわたって団の運営に尽力された方もある。スカウトたちは社会人として経験を生かし、多方面で活躍している」とあいさつを寄せ、長い歴史に実感を新たにしている。

ボーイスカウト千厩第1団の発団40周年記念誌

岩手日日新聞（2006.1.3）

愛知

⊡ 広報誌に載りました

碧南第2団
カブ隊隊長
小林 尚徳

地元、碧南市の広報にとりあげられました。

市民調査隊

小林尚徳さん（宮町）

ボーイスカウトについて紹介します

今年は漢字検定の3級に挑戦し、少しでもたくさんの漢字を覚えたいと思っています。

ボーイスカウトをご存知ですか

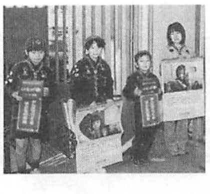
「ボーイスカウト」という言葉を、皆さん1度は聞いたことがあると思います。

ボーイスカウトは、青少年の健全な育成を目的とする、世界的な活動です。

現在、碧南市では1団と2団に分かれ、幼稚園児から成人まで、幅広い人たちが活動をしています。

スカウト活動は、野外活動を中心に、空き缶拾い、野外炊事、ハイキング、老人ホームの慰問、自転車ハイク、キャンプ、魚釣り、ユニセフの募金など、年間を通じていろいろな活動を行っています。

スカウト活動は成長の場



スカウト活動の良いところは、学校ではなかなかできないことが体験できること。年代の異なった子どもたちが、1つの組を作り、そのなかで、年長者は年下の子を助け、年少者は上の子から教えてもらいます。また、スカウト独特のロープワーク、テントの設営、キャンプの仕方、救急法などさまざまな技能を身につけることもできます。

入隊当初はみんなとまどいます。しかし、1年間一緒に活動すると、見違えるほど成長するのがよく分かります。子どもたちの成長力は素晴らしいものだなと、いつも感心させられます。

指導者は全員ボランティア。忙しい合間をぬって子どもたちのために協力して活動しています。

来年はスカウト活動発祥100周年

来年は、スカウト活動がイギリスで始まってから100年の記念の年。これから、地元の子どもたちとともに、スカウト活動を続けていけたらと思っています。

是非スカウト活動に参加していろいろなことにチャレンジし、子どもたちが健やかに成長してくれることを願っています。

広報へきなん ⑪
（平成18年2月11日号）

石川

▣ BVS〜VSの4隊制覇第2弾

金沢第11団　団委員長　浜本 茂樹

私たち石川県連盟金沢第11団の中村家をご紹介します。昨年、男4人兄弟でビーバー隊〜ベンチャー隊までの4隊に所属する橋本家を紹介しましたが、今年は、女子4人で同じくビーバー隊〜ベンチャー隊までの4隊にそれぞれ所属しています。

下からビーバー隊が妃那（ひな）、カブ隊が美紅（みく）、ボーイ隊が舞美（まみ）、ベンチャー隊が早希（さき）です。

さらにお父さんはビーバー隊の隊長、お母さんは団委員で、6人家族全員がスカウト活動に参加しています。

お父さんは清潔好きで、しかも虫嫌いとキャンプ敬遠派でしたので、ボーイスカウト活動への参加はなんと5番目。でも、心意気は熱く、勉強熱心で、今では隊長の役割を担っています。

この中村家では、ボーイスカウト活動はみんなに共通の話題であり、おかげで親子間の断絶もなく、明るくすてきな家族です。

昨年の橋本家の男4人に続いて、今年の中村家の女4人でのビーバー隊からベンチャー隊までの金沢第11団での2年連続制覇は、とてもめずらしく、すてきなことだと思いませんか!!

京都

▣ 手造りでスカウトハウス建設

長岡第4団　副団委員長　八代 隆之

「25周年に向けて我々の手でスカウトハウスを建てよう」

夢だったスカウトハウスをしかも我々の手で建てるという夢のようなチャンスがきました。

住職である育成会長の計らいで市西部の山の中腹にある寺領の場所をお借りし、また裏山の杉を提供してもらい1階にコンテナ2台の倉庫、2階にスカウトハウスという案で2001年12月にスタートしました。

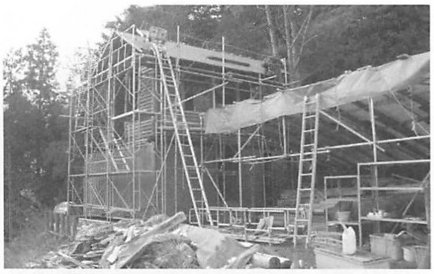
・切り出し3か月・皮むき2か月・乾燥8か月
・加工12か月・組み立て3か月
・仕上げ2か月合計30か月延べ700人以上が汗をかき楽しみました。

スカウトは壁材のペンキ塗りをし、それぞれ誓いや願い、希望などの言葉と名前を壁材に書き、それを組み込みました。

2004年5月に25周年式典と兼ねて竣工式を挙行し、隊、団、育成会、OBの他友団や地区役員も参加していただき喜び合いました。

その後砦のような門と塀を作り我が団の城ができあがり、有効に活用して充実したスカウト活動を展開しています。

この経験は今後の我が団にとってもまた各個人にとってもあらゆる面で自信と誇りになって役に立つことと思います。



新潟

▣ 新聞に載りました　糸魚川第1団

教え 教えられ 子ら成長

学びの現場

青少年の健全育成を目的に結成された英国発祥のボーイスカウト。糸魚川第1団の活動に、いまでは少なくなった縦割りの人間関係から、助け合う術や、社会で生きる力を身につけようとする姿が見える。そこには、人が「教えてもらったことを教え、また教えながら教えてもらい、その中で成長する」という姿勢と考えが貫かれている。　（伊東大治）

ボーイスカウト糸魚川第1団

キャンプ通じ「生きる力」

自然の中で仲間と遊び学ぶ＝糸魚川市市野々で、日本ボーイスカウト糸魚川第1団提供

今春、糸魚川第1団を卒業し大学に進学する大山知子さん(18)は、夕飯のたき付けの火がつけられず、半べそをかいた中学2年の時のキャンプを思い出す。

班単位で枯れ枝を集めてきてマッチ3本で火をおこし、食事の支度をする訓練。仲間と3人で四苦八苦し、何とか火がついたのが2時間後。夕飯を食べ終えたら、夜がとっぷりふけていた。

隊長やリーダー（大人）は見ているだけ。仲間とテントで「朝食はスムーズに火をおこして食べるぞ」と話し合い、翌朝、1時間早く午前5時に起き、準備を始めた。すると「起床が早過ぎる。支度は時間内にするのが大事」と諭された。

火の付け方はボーイ隊（小6〜中3）に進級した時に学ぶ。でも、知子さんたちは火をつけるのがうまい先輩に甘え、しっかり覚えようとしなかった。その「つけ」を実感することになった。

糸魚川第1団は今月26日、糸魚川市市野々の山間部にあるキャンプ場でボーイ隊に入る前のカブ隊（小3〜小5）などとキャンプをする。泊まりがけとなるボーイ隊（現在8人）は、雪上での寝泊まりだ。寝袋一つで寒さを防ぐために到着したらスコップで雪洞づくりから始めなければならない。隊長の大山恵右さん(58)は「4人が眠れるくらいの大きな穴です。今回は雪掘り未経験者ばかりだから、午後5時すぎても完成するだろうか」と笑う。

団の子どもは現在、約40人。学校のクラブ活動、塾通いで参加が減り、活動も週末に月1回程度と減ってきたが、自由参加が基本。「文化的な生活ができなくなっても途方にくれない人間になろう。そのための力や気持ちを持とう」というテーマも変わらない。

ボーイ隊の場合、キャンプで食べ物も自己調達。今度の雪上キャンプでは3食分の食べ物を1人500円の範囲で買ってくる約束だ。500円で食材をそろえるのは難しいが、子どもたちは食品店をめぐり、相談しながら買いそろえる。また雪しかない自然の中でも、子どもたちは、ポリ袋1枚、枯れ枝1本でも遊びをみつける。

大山さんは、こういう経験を、親も地域も教えなくなっていると思う。「最初は誰もが何もできないのです。でも、実際に自然の中で一晩をすごすと、雪の中、雨の中でも眠れるという自信がつくんです」

団の事務局を務める松沢剛さん(46)は、団の卒業生だ。自分が学んだことを子どもたちに伝えるという気持ちで子どもに接している。「教えるという気持ちはない。教えようという気持ちになると、期待した通りにならないとムキになって怒ってしまう。そんなことも大人になって子どもから学びましたね」

知子さんは「月1回でしたが、年上の人と一緒に過ごす中で人間関係を学び、何があっても自分の考えで対処できる力を学んだ」と話している。

朝日新聞（2006.2.17）

静岡

▣ 「入団・上進式」を終え新年度への態勢整う

富士宮第5団　団委員長　青木 尚

我が団では毎年「春分の日」前後に、近くの氏神様で新年度のボーイ隊員と新入団指導者の「誓いの式」を行います。

今年は、3月19日（日）の午後7時より開始し、11人の上進スカウトと3人の新たな指導者を迎えて「誓いの式」を行いました。

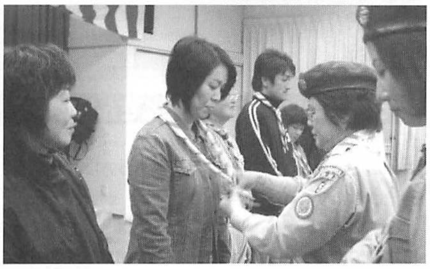
当日は全国的に「春一番」が吹き荒れ、3本のローソクには飛び火が心配され点火できませんでしたが、団委員さん方の機転で素早くペンシルライトに切り替えて無事終了し、忘れられない「誓いの式」になりました。

続いて、3月26日（日）には地域の公会堂をお借りして、ビーバー隊員の「入団式」、カブ隊員とボーイ隊員の「上進式」を行いました。

カブ隊ではデンリーダーの任命式も同時に行い、

新年度への態勢が整いました。

新入ビーバー隊員の増加で登録人員増を期待しましたが、いざ蓋を開けてみると、中学校の部活の影響で、昨年と同じ113人（初期登録）に止まりました。



鹿児島

⦿「スカウト展」開催

鹿屋第1団　ビーバー隊隊長　岩切 悟

この度、ボーイスカウト鹿屋第1団とガールスカウト鹿児島県第1団の主催による「スカウト展」が、鹿屋市内の「プラッセだいわ鹿屋店」の1階ホールに於て、2月25日（土）～2月26日（日）の2日間にわたって無事、盛祝裏に終わりました。

日本連盟から借りたパネル等が目立ち、一般の方々もスカウティングの意識啓蒙に相当役立ったものと確信しています。

山野草の天ぷらやマシュマロでもてなし

～キミもボーイスカウト隊員に参加を～ スカウト展

プラッセだいわ鹿屋店

ボーイスカウト鹿屋第一団（風呂井敬団長・四十五人）では、ボーイスカウトの活動を知ってもらい入隊を呼びかけるためのスカウト展を二十五・二十六日の二日間、プラッセだいわ鹿屋店で開いた。

ボーイスカウト・ガールスカウトは、青少年の健全育成の分野として世界的なエリアでの活動が知られている。心身を鍛え、その活動はボランティアの心を育むものとして社会的にも大きな評価があるが、近年の子供たちの活動のステージは情報化と共に多面となり、入隊し、活動しようとする青少年が減少傾向にある。同展は、同鹿屋第一団が発団四十周年の節目を迎え、更なる活動への弾みを目指して開かれたもの。

開会セレモニーでは風呂井団長のあいさつ、スカウト代表らによる開会宣言やテープカットがあり、特設会場内では、凧揚げ大会、麻薬の根絶の活動参加、夏祭りの参加など一年間の活動内容を写真やパネルで紹介。また家員たちはスギナ・クコ・ツワブキなど山野草の天ぷらを揚げたり、炭火で焼いたマシュマロをビスケットでサンドした珍しいお菓子などを買い物客たちに配り、交流を繰り広げた。

六歳から隊員として活動しているリーダー格の小林佳史さん（鹿屋中三年）や同免木祐斗さん（第一鹿屋中二年）は沖縄や宮崎、韓国など海外での大会にも参加しているなど、第一団は果敢な活動を行っている。

だいわ鹿屋店1Fホールで開催されたスカウト展

活動の記録を公開

南九州新聞（2006.2.28）

読者の“声”

～4月号の記事について～

●カモン！珠洲

◇今までにない歓迎ぶりが見られます。過去も同じだったでしょうが珠洲市の関係者の心意気が感じられます。

●Jにいかないスカウトたちの夏

◇それぞれの団の工夫はすばらしいことと思います。他団の様々な心遣いについても知りたいですね。

◇参加人数に制限があり、参加できないスカウトは可哀想です。県連盟、地区で同時期に残留スカウトのための大会のような物を企画していただきたいと思う。

●隊活動のヒント

◇たくさんの野外活動プログラムの投稿を期待します。

◇対活動のヒントとしていいですね。自隊でアレンジすることも必要ですが。

●全国大会のご案内

◇県連盟代表だけでなく誰でも参加できるのですから、大勢の参加を期待します。

●活動自慢コンテスト募集

◇全国各地の活動を知るのに企画された新メニューとして注目します。

●全国ゆかりの地探訪

◇集まったものを1冊にまとめて発行されることを期待します。

✐ 100周年を終えたあと、ガイドブックにまとめていく予定です。どうぞご期待ください。

●世界のスカウト人口

◇世界のスカウト人口の動向・現状は関係者にとって、関心の高いところで、定期的に掲載されると良いですね。

✐ 記載に誤りがあり大変失礼いたしました。16頁に訂正記事がありますのでご参照ください。

●日本連盟からのおしらせ

◇維持会員で新規になられた方に丸印をつけるなど区別されてはいかが？

●スカウトショップニュース

◇久しぶりに、チーフリングのいろいろが記念品として発売。参加者はもちろんその他の仲間がつけ、ジャンボリームードを盛り上げたいですね。

●国際スカウトフォーラム

◇こんな事やっていたのか、という読者も多いと思う。活動のPRは重要です。

●その他フリートーク

◇ほしい記事：全国のお父さん、お母さんの紹介！

スカウト活動に期待すること？・・・・・保護者の声

★クラブスカウト春夏号の記事について

●今年の夏はジャンボリーだ

◇ジャンボリーの楽しい活動を感じるページとして、参加者も見学者にもワクワクする構成はよい。

◇盛りだくさんのプログラムですが、希望したプログラムに参加できないことも過去に多くありました。希望にできるだけ添えるよう努力してほしいものです。

●ビーバーみつけてビンゴ

◇ぜひとも我が団でやってみたいです。

◇ビーバー隊の活動に活用できる。保護者に見てもらえるようになればいいのに。

●カブ世界のみんなと友だちに

◇身振り手振りで伝わることや日本の遊びの紹介はいいですね。しかしジャンボリー参加やホームステイ受け入れの予定がないスカウトは関心を持ちづらいかもしれませんね。

●ボーイ通信技術で荒野を行くのだ

◇携帯電話の普及により、野外での信号発信、通信技能等をプログラムに取り入れると何か新鮮さと冒険を感じる活動プログラムを展開するのによいヒントになります。

●ベンチャーほんの少し遠くへ自転車で

◇自転車の車間距離を2台分とるのがよいなど事故防止の記載もほしかったです。

◇この種のマニュアルは多く見られますが、ベンチャーたちの参考資料として活用させたいですね。

●第一年度ホップ賞おめでとう

◇ホップ賞もらった隊の写真いいですね。他の励みに繋げたいものです。

●裏表紙イメージ

◇隊活動の一部分ですか、いいですね。表紙に神妙なスカウト像が伺えます。

■皆さんの声をお寄せください。

目次頁記載の宛先まで、ハガキ、FAX、Eメールなど、お気軽にどうぞ。記事リクエストも歓迎です。掲載させていただいた方には記念品をお送りします。お気軽にご意見いただけるよう投稿者名は掲載していませんが、匿名での投稿はお受けしていません。✐

ジャンボリーで会いましょう!

2006年夏の 誌上名刺交換のご案内

スカウティング誌2006年7月号に、今夏開催します第14回日本ジャンボリーに向けて「夏の誌上名刺交換」の頁を設けます。全国のスカウト仲間へ暑中見舞いのご挨拶としてぜひご利用ください。たくさんのお申し込みをお待ちしています。

■掲載料
一口につき、5,250円(税込)

■締め切り
平成18年5月20日(土)必着

■お申し込み方法
掲載内容(原稿)・口数・お名前・郵便番号・住所・電話番号・所属・役職をご記入の上、郵送・FAX・Eメールのいずれかで、広報チーム宛お送りください。原稿の文字組みは原則として「ヨコ書」とさせていただきます。なお、原稿には1口につき、以下のものを入れることができます。
①20字程度のメッセージ
②所属
③連絡先(住所・電話番号・メールアドレス等)
④シンボルマークなど(原画またはきれいに印刷された完全版下をご用意ください。デジタルデータの場合はご相談ください)
※オリジナルのデザインをご希望の方は、ご自身で規格サイズのデータを作成してお送りください。

■規格(単位:mm)

・1口	33×62
・2口タテ	66×62
・3口タテ	99×62
・4口タテ	132×62
・1段(8口タテ)	264×62
・2口ヨコ	33×124
・3口ヨコ	33×186
・6口ブロック(2×3)	66×186
・半頁(4×3)	132×186
・1頁(8×3)	264×186

※大人数でお申し込みの場合、1口あたり3～4人を目安にしてください。大人数で少ない口数をお申し込みの場合は、適当な口数をご案内させていただきます。

■送金方法
・ボーイスカウトカード
　カード番号と有効期限をお知らせください。
・郵便振替(巻末添付の用紙をご利用ください)
　00110-1-82610
　財団法人ボーイスカウト日本連盟
・銀行振込
　三菱東京UFJ銀行　吉祥寺駅前店
　普通口座　5241286
　財団法人ボーイスカウト日本連盟

■お申し込み・お問い合わせ先
財団法人ボーイスカウト日本連盟広報チーム
〒181-0015　東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422-31-5163　FAX 0422-31-5162
E-mail　pr@scout.or.jp

ジャンボリーの成功をお祈りします
ボーイスカウト□□連盟
理事長　大　沢　四　郎
□□県△△市○○町4-11-10
電話0120-××-××××
E-mail kenrenmei@abc.de.fg
(33mm)

珠洲で会いましょう!!
ボーイスカウト▽▽連盟◇◇地区◇◇第4隊
隊長　水戸　三郎
副長　佐々木　格
〃　渥美　千太郎
副長補　萬屋　娟子
〃　疾風　晶
隊付　斉藤　桔梗
上級班長　北斗　国光
おおかみ班
たいしゃくしぎ班
うし班
わたりがらす班
(66mm)
(62mm)

(配置の参考としてください)

投稿お待ちしています

本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念のキーホルダーをお送りしています。投稿は、文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名・掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。

お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。予めご了承ください。

たくさんの投稿をお待ちしています。

宛先は目次下をご覧ください。

クラブスカウトをもっとたくさんほしい方へ

春・夏号の「クラブスカウト」いかがでしたか?「隊のスカウトに配りたいので○冊欲しい」という方には、実費にてお分けします。10月に発行された秋・冬号も若干の在庫がございます。価格、購入可能数などは **ボーイスカウト日本連盟広報チーム ☎ 0422-31-5163** までお電話でおたずねください。お申込方法などご案内します。

なおいずれも数量に限りがありますので、在庫切れ次第頒布終了とさせていただきます。予めご了承ください。

SCOUTING
スカウティング
2006年 5月号　No.636

CONTENTS

第33回全国ボーイスカウト写真コンテスト 入賞作品発表!!……P.2～5
日本連盟新しい役員の紹介……P.6
ステップアップ100運動 第2年度フォローアップ!!……P.7～9
ジャンボリー情報③……P.10～11
隊活動のヒント……P.12
全国ボーイスカウトゆかりの地探訪……P.13
原点をたどるシリーズ ウッドクラフトとは……P.14
信仰心を育むために 信仰を奨励するということ……P.15
おしらせ・読者のページ……P.16～19
スカウトショップニュース……P.21
富士章受章おめでとう!!……P.22～23

発行所　財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者　事務局長　金井昭二
住所　〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL　0422-31-5161
FAX　0422-31-5162
URL　http://www.scout.or.jp/
Eメール　pr@scout.or.jp

■©財団法人ボーイスカウト日本連盟／写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。
■バックナンバーをご希望の場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。
■本誌は再生紙を使用しています。

SCOUT SHOP NEWS

NEW
モンベル社との共同開発品
品番-83580
トライバッグ(TRIBAG)
¥6,400(税込)

A4サイズに対応のフィールドからタウンユースまで広く使える、多彩なポケットを持った多機能3ウエーバッグ。用途に合わせてショルダーバッグ、バックパック、キャリーバッグになるので会議や集会、また通学から通勤まで様々なシーンに活躍します。本体には内側にベルクロ付きサブポケット、前面には開口型の大型ポケットと2つのジッパー&メッシュポケット付き。ペットボトルを入れられるサイドポケットや雨蓋の内側には脱いだ上着などを留められるストラップ付き。背面のウレタンパッドは緩衝材になると共に取り出してシートにも使える。フロントとショルダーハーネスにはライトを反射するテープ付き。

素材:210デニール・ナイロンダブルリップストップ(ウレタンコーティング)
サイズ:33X33.5X12cm　容量:12リットル
重量:730g　カラー:ブルーブラック

NEW
モンベル社との共同開発品
品番-83549　**新舎営ザック**
¥6,700(税込)

引き裂きに強いナイロンリップストップを使った新舎営ザックは40リットルの容量で770gと軽量。キャンティーンも縦に入れられる大型のポケットが3個と雨蓋にメッシュポケットがついて荷物の分類収納が簡単で取り出しも便利。雨蓋を開けた本体トップ部分のスタビライザー(固定用留め具)やチェストサポートなど、形態を安定させる機能付がついている他、ボトムにはスリーピングバッグ固定テープ付き。前面ポケットにはライトを反射するテープ付き。

素材:210デニール・ナイロンダブルリップストップ(ウレタンコーティング)　サイズ:43X37X20cm
容量:40リットル　重量:770g
カラー:ブルーブラックXメタル

14NJ記念品

NEW
品番-70847
ジャンボリー・ショルダーバッグ
¥3,800(税込)
数量限定品

美しいカーキ色でフィールドからタウンまで使える、A4サイズの書類も楽々入るショルダーバッグ。メインポケットにはベルクロで閉じられるサブポケット付き。前蓋を開けるとジッパー付きのメッシュポケットとオープンポケット付き。サイドにはペットボトルが入れられるメッシュポケット。ボーイ年代まではバックパックでの使用も可。

素材:ポリエステル　サイズ:30X36X11cm
容量:11リットル　重量:550g　カラー:カーキ

夏用ユニフォーム新発売!

ベンチャースカウト以上の夏用ユニフォームが登場しました。蒸し暑い夏のユニフォームとしてぜひともご利用ください。価格は昨年5月に値下げいたしました現行ユニフォームと同じ価格に抑えました。見た目のデザインは現行シャツと同じです。シャツは綿60%ポリエステル40%、パンツ(スラックス)は綿とポリエステル各50%です。

夏用ユニフォーム品番一覧

<男子用>

品番	品名		税込価格
16301	LN160S	半袖シャツ	4900
16302	LN165S	半袖シャツ	4900
16303	LN170S	半袖シャツ	4900
16304	LN175S	半袖シャツ	4900
16305	LN180S	半袖シャツ	4900
16306	LN180XS	半袖シャツ	4900
16308	特注		6300
16311	LN160L	長袖シャツ	5500
16312	LN165L	長袖シャツ	5500
16313	LN170L	長袖シャツ	5500
16314	LN175L	長袖シャツ	5500
16315	LN180L	長袖シャツ	5500
16316	LN180XL	長袖シャツ	5500
16318	特注		7900
16321	LN70LP	長ズボン	5500
16322	LN73LP	長ズボン	5500
16323	LN76LP	長ズボン	5500
16324	LN79LP	長ズボン	5500
16325	LN82LP	長ズボン	5500
16326	LN85LP	長ズボン	5500
16327	LN88LP	長ズボン	5500
16328	LN92LP	長ズボン	5500
16329	LN96LP	長ズボン	5500
16330	LN100LP	長ズボン	5900
16331	LN105LP	長ズボン	5900
16332	LN110LP	長ズボン	5900
16334	特注		7800

<女子用>

品番	品名		税込価格
18701	FN7S	半袖シャツ	4300
18702	FN9S	半袖シャツ	4300
18703	FN11S	半袖シャツ	4300
18704	FN13S	半袖シャツ	4300
18705	FN15S	半袖シャツ	4300
18707	特注		6200
18711	FN7L	長袖シャツ	4900
18712	FN9L	長袖シャツ	4900
18713	FN11L	長袖シャツ	4900
18714	FN13L	長袖シャツ	4900
18715	FN15L	長袖シャツ	4900
18717	特注		7800
18721	FN7LP	長ズボン	5200
18722	FN9LP	長ズボン	5200
18723	FN11LP	長ズボン	5200
18724	FN13LP	長ズボン	5200
18725	FN15LP	長ズボン	5200
18727	特注		7800

■ご利用にあたってのお願い

- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。
- 日本連盟へのご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。日本連盟のインターネットホームページからダウンロードもできます。
http://www.scout.or.jp/j/info/download/download_etc.html
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードおよび代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。
- ファクシミリ【0422-31-5169 スカウト用品専用】でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。

★スカウトカタログ2005-2006等の情報はインターネットでもご覧になれます。
URL : http://www.scout.or.jp/j/info/supply/catalog.html

※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。

富士章受章おめでとう!!

この春も富士章受章スカウト顕彰、代表スカウト表敬などの事業が行われました。全国から集まったスカウトたちが交流し、お互いにエールを贈りあい、そして皇太子殿下や文部科学大臣、内閣官房長官からそれぞれ激励の言葉を頂戴しました。

■富士章受章スカウト顕彰

3月18日（土）～19日（日）、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。29県連盟155人のスカウトが全国から集い、グループごとにプロジェクトの紹介や討議等を行いました。

■富士章受章スカウト代表表敬

3月31日（金）には東宮御所を表敬訪問し、皇太子殿下から激励の言葉を賜りました。

また4月5日には小坂憲次文部科学大臣を表敬訪問。スカウト経験者でもある小坂大臣からは代表スカウト一人ひとりと握手していただきました。

同日、続いて首相官邸において、安倍晋三内閣官房長官を表敬訪問。「これから大きな変化を迎える日本には若い皆さんの地域や国への奉仕が大変重要です。これまで培ってきたものを社会に生かしてください」と激励のメッセージをいただきました。

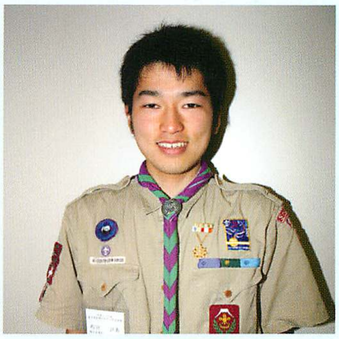
富士章受章スカウトに聞きました

富士章受章で誇らしい笑顔のスカウトたちに質問を投げてみました。（敬称略でご紹介します）

①富士章取得までがんばってよかったと思うこと　②最も印象的だった課目について　③全国の後輩スカウトにエールを
④自慢、自己ＰＲ　⑤スカウト運動への愛を一言　⑥将来の夢

●北海道・北見第2団　加藤　由麻
①プロジェクトを通じて自分のやってきたことを客観的に見ることができるようになり、責任も持てるようになった。
③自分のやりたいことをどんどんやれ！
⑤意志あるところに道あり。

●青森・青森第1団　高橋　和徳
②熱い夏の移動キャンプで、小学校からずっと一緒に活動してきたスカウトと課目を終えたときは感動しました。
③何事にも誠実に！
⑥すてきな大人。



●埼玉・菖蒲第1団　町田　直希
②雪中キャンプでの料理。すぐ冷めてしまうのでそれぞれの料理を完成させるタイミングに苦労した。
③自分の興味ある活動をしていけばほとんどの課目はうまると思うので楽しんで活動してください。

●千葉・千葉第25団　大藪　謙介
①スカウティングの基本は「奉仕」であるということが改めて実感できたのである。
③「走れるのに歩くな。走れないのに走るな」をモットーに、自らのペースで目標の高みへ邁進してください。
⑤No scouting , No life.

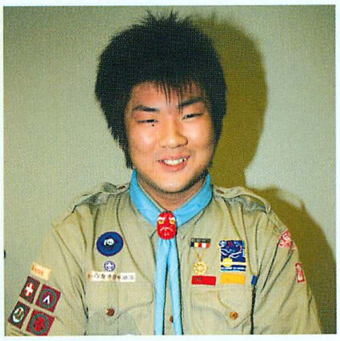
●東京・世田谷第23団　國分　駿佑
③Never Give Up!
⑤ボーイスカウトやって良かった。
⑥国際的な仕事に就きたい。

●新潟・長岡第3団　上條　正太郎
②自分の通う教育大学での子どもたちとの活動についてプロジェクトをまとめられたこと。１年間がんばって、楽しみ、そして大きく成長できたものだったから。
⑥小学校の先生になって子どもたちと多く関わっていきたい。

●石川・金沢第17団　蔵岡　亮介
②一番最初のアワードで、計画書等初めてのことばかりで苦労したけど、やり遂げたときの達成感がすごかった。
③スカウト活動を楽しんでください。
⑥気軽に話しかけられるリーダー。

●福井・鯖江第5団　白崎　健悟
②鶏の解体。安全管理など実施するまで数回講習会を実施した。
⑥花の品種改良をすること！　さらに地元の農業高校の先生になる。他団に合併した団をまた復活させる！！　加盟員を増やす！

●長野・松本第2団　柏原　哲也
①今まで苦労をかけてきた指導者や親に形に残る恩返しをすることが少しできたと思う。



●岐阜・関第2団　小見山　祐樹
②老人ホームでお年寄りと歌を歌ったこと。お年寄りの元気のよさに圧倒されました。
③共に社会を変えていかないかい？
④自分の好きな「音楽」をアワードに所々取り入れることで、自分でも満足な出来に仕上がった。

●静岡・沼津第4団　矢田　隆浩
②報告書が完成して隊長が「ＯＫ」を出してくれたとき、感激。
③自分のカヌーは自分で漕げ！！
④チャレンジ精神で快活に活動すること。

●京都・京都第55団　浅井　孝文
③あきらめるな！
④積極的に行動すること。
⑥自分の後輩に富士章を取得させること。

●奈良・北葛城第1団　山崎　敦史
②アワードの奉仕活動で行った日本アグーナリーでの奉仕で自分の人生観が変わった。
③富士章を取得することだけを目標にするのではなく、そこまでの過程を楽しんでほしいです。
⑤続ける価値は絶対にある！！

●大阪・枚方第8団　岡村　晃志
②食料不足で困った２泊３日の登山キャンプ。
③スカウトにプライドを持て！
④家族皆スカウト。

●福岡・福岡第22団　青柳　麻依花
③続けたら絶対イイことあるよ！！
⑤スカウト運動がなければ現在の私はありませんでした。ありがとう！！
⑥報道関係の職業について世界中で起こっていることをわかりやすく伝えていきたい。

●沖縄・那覇第3団　川村　直樹
①まわりの人が自分のことのように喜んでくれたこと。
③自分から進んで楽しいスカウト活動にしよう。
⑥「僕はスカウトです」と堂々といえる立派な大人になりたい。

入団のお問い合せは フリーコール 0120-333-159 ホームページ http://www.scout.or.jp

小学校入学前年の9月から、男の子も女の子も参加できます。

財団法人
ボーイスカウト日本連盟

SCOUTING 2006/5 636

スカウティング

昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
平成18年5月1日発行 毎月1回1日発行

発　行　財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者　事務局長　金井昭二
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
電　話　0422(31)5161(代)

定価￥409(税込)
郵便振替　00110-1-82610
口座名義　(財)ボーイスカウト日本連盟

4931187663251